

# 女性消防団員の増加対策について



田中 弘子

**田中** 女性消防団員さんの退団に伴う人員補充はという事ですが、今年3月末日までに7名の方が退団されました。行政の対策としては、

**高木総務課長** 女性消防団は、平成20年4月1日に11名の団員で結成され、今年の4月1日現在、7名の方にご活躍を頂いています。市消防団では、分団長以上の会議を定期的で開催し、その中でも女性消防団の団員確保の要請をお願いしています。広報誌の中でも募集していますし、また、市のホームページの中で項目を設け、一般の男性団員同様女性の団員も募集を行っています。現状としては、諸事情もあり入団していただく方が少ないのが実情です。

## 河川掘削の進捗状況について

**田中** 河川掘削（県・市）の進捗状況ですが、昨年の豪雨が千年に一度ということでしたが、工事の進捗状況は。

**井建設課長** 市の部分は終了しております。後は遅れている県に対して、1日も早く工事が着工、終了するよう陳情をしていきます。

## 学校規模適正化について

**田中** 学校規模適正化について（旧阿蘇町）ですが、子どもの少子化が進んでおり、組織整備もされていきます。好きなスポーツが出来なかつたり、複式学級となる状況であるが、今後をどう考えているか。

**日田教育課長** 小規模校については、クラス編成上教職員の数も少なく、ある程度の規模がないと子ども達がやりたい部活動もできないのが現状です。今年小学校の運動会に参加しましたが、一部の保護者の方から統合を急いでほしいとご意見がありました。保護者会の意見がまとまれば、そういう方向に取組んでいきたいと考えております。



女性消防団員

# 仮設住宅と入居者の方々の今後について



市原 正

**市原** 蒲島知事が発表された、仮設住宅の入居者への払い下げ構想、或いは2年間の入居期間を延長する構想、現在の状況はどうなっているのか。

**山口福祉課長** 県知事の発言を受けて、県庁内に検討チームが立ち上げられ、本年2月と5月の2回阿蘇市と協議が行われていますので、その協議の内容を状況として説明させていただきます。まず、払い下げにつきましても、国が示した応急仮設住宅の設置に関するガイドラインによつて県との協議の中で、個人への払い下げや市へ払い下げて、市営住宅として管理の話がありました。現実的には困難と思っております。また、期間の延長につきましても、県と協議の中で、国の確認をと要請しましたところ、3月下旬に所管の内閣府から「延長は認められない」と回答があったと県から連絡がありました。

**市原** 今の課長の答弁を聞くと、あれだけマスコミに取り上げられ大きな反響のあった県知事の構想は、極めて実現不可能な構想であったとしか捉えられないが、市の見解は。

**福祉課長** 根拠ある法律の下での執行となりますので、法令を順守するしか方法はありません。しかし、なるべく入居者の意向を尊重できる支援となるよう熊本県と連携して対処するよう申し合わせています。

**市原** 仮設住宅にはあと1年しか入居できない、入居者の方々の不安は計り知れないものがあると思うが、担当課としての対応は。

**福祉課長** 定期的に保健師や看護師で巡回し、要望や相談を受け、心のケアを含めて対応しております。

他に、「阿蘇駅前開発について」の質問がありました。



高田住宅

# PM2.5観測機阿蘇市に設置は



森元 秀一

**森元** 6月の県の予算に、3000万円組んであると聞いたが、阿蘇市の設置は。

**阿部住環境課長** PM2.5に対する観測体制の整備強化のため、観測局4局及び観測車一台、3400万円が予算計上され、阿蘇市への設置も予定されており、年内の稼働を目指すということです。

**森元** 今後の市民に対しての情報提供は、管理体制は。

**住環境課長** 来年早々に、県の担当者が説明に来ますので、管理体制及び早期設置については、重々お願いたします。今後は阿蘇地域の詳しい情報が入りますので、市民に対する周知という部分の強化を図っていきます。

## 阿蘇カルデラスーパーマラソンの経済効果は

**森元** 集客方法、観光としての取り組み効果は。

**江藤教育部長** 阿蘇市独自で経済効果は出しておりません。阿蘇広域行政事務組合で算出したデータでは大会事務費4900万円程度、出場者・家族等の消費（宿泊、お土産等）5400万円、合計の1億3000万円が上がっております。

**森元** 経済効果はあるが、今後の集客、宣伝の取り組みは。

**教育部長** 基本はスポーツ振興ですが、今後も観光振興の面についても併用した形で取り組み、阿蘇市としても積極的に意見を出していきたいと思っております。

その他に「選挙人に送られてくるハガキ選挙入場券に、不在者投票宣誓書請求書を印字してはどうか」、「阿蘇が世界農業遺産に決定。今後この農業の取り組みは、世界文化遺産への戦略は。」の質問がありました。



カルデラスーパーマラソンスタート模様

# 自主避難について



谷崎 利浩

**谷崎** 激しい雨、大雨注意報（以下注意報）、大雨警報（以下警報）は、それぞれ何ミリか。

**高木総務課長** 一時間当たりの雨量が50mmと想定される場合に注意報が、80mm以上が想定される時に警報が発令されます。また時間雨量30〜50mmが「激しい雨」とされています。

**谷崎** 7・12豪雨災害時、これらの発令は何時ごろ出されたのか。

**総務課長** 7月11日午前6時、熊本地方気象台から大雨情報が出されておりました。同日夕方、16時に注意報が、翌12日0時30分に警報が発令されました。

**谷崎** 警報発令後に「自主避難所の開設・自主避難呼びかけ」となっているが、昨年の場合、警報は夜中の0時30分なので、間に合わないと思うが。

**総務課長** 昨年の反省を踏まえて、予防的な避難を打ち出し、警報発令後に、避難準備情報・自主避難所開

設をすすめます。また、それ以前に、「雨が降り非常に不安」という問合せがあれば、自主避難所を開設いたします。

**谷崎** 食べ物・荷物を準備して明るいうちに避難しようとするれば、16時の注意報の段階で自主避難を呼びかけることは出来ないか。

**佐藤市長** 命を守るという事が大事です。気象は、いつどのように変化するか分かりません。決めた規定を守るというのではなく、機転を利かせながら状況を見極め、早めの対応をしていきたいと思えます。

他に、「避難訓練について」、「公共交通機関について（阿蘇地域交通のあり方、JR通勤通学時間帯の快速導入と車両増について）」等の質問がありました。



6月20日、大雨注意報だったが予防的避難が行われた市職員（左）20日午後6時半、阿蘇市の市の高保健センター

# 阿蘇市 観光の基本方針は



五嶋 義行

**五嶋** 阿蘇市には江戸時代から栄えた内牧温泉があるが、以前のように栄えていない。阿蘇市観光の基本方針は。

**吉良観光まちづくり課長** 観光の基本方針は、地域の文化資源等の連携によって、地域の方々との交流が生まれる滞在型観光地づくりを目指しております。再生と飛躍の取り組みに活力を注ぐ、阿蘇「草・観・然」活性化事業補助金を展開してまいります。

**五嶋** 隣町の黒川温泉は、30年ほど前には閑古鳥が鳴いていたが、今は大変栄えている。内牧温泉と黒川温泉の違いは。

**観光まちづくり課長** ハード面の違いは、内牧温泉が17軒で年間宿泊者数が30万人、一方、黒川温泉は28軒で約42万人。ソフト面で考えると、

30年前には閑古鳥が鳴いていたところに観光カリスマが表れて、地域のみなさん全員で立ち上がられて、阿蘇を代表する観光地になったと認識しております。

## 阿蘇市の防災対策について

**五嶋** 災害時の孤立集落の把握とその備えは。

**高木総務課長** 後ろは山、前は川といった地域では、川が氾濫し、道路が寸断されると多くの集落が孤立しますが、何世帯が孤立するかまでは把握しておりません。そういった場合には、県警、自衛隊、県の消防署のヘリコプター要請を考えております。加えて、水・非常食等を用意しています。



内牧中央公園あそびバ

# 「深葉・茗ヶ原・荻の草・舞谷の防災対策」について



園田 浩文

**園田** 現在の4地区の世帯数と人口は。

**佐藤市民部長** 深葉地区15世帯29人、茗ヶ原地区7世帯17人、荻の草地22世帯61人、舞谷地区6世帯17人です。

**園田** 市職員で4地域の地理的位置を知らない職員がいるように聞かれます。**市民部長** ある程度経験のある職員は知っているようですが、新採の職員等はまだ把握していないかと思えます。

**園田** 全ての職員への周知をお願いしたいが。

**市民部長** 現在117行政区に地区担当職員を配置し、有事の際に直ぐに対応出来る様に職員にも注意喚起をしています。

**園田** 4地区への緊急連絡体制は、**高木総務課長** 警報発令時、また

災害発生が予測される状況の際は、電話により連絡を取っています。**園田** 災害時には、道路の崩壊、河

川の増水なども考えられ、出来れば職員目で確認は出来ないか。

**総務課長** 昨年の災害のように、同時多発的に災害が発生しますと、対応が遅れることも考えられますが、出来るだけパトロールするように検討します。

**園田** 消防団活動についての認識は、**総務課長** 分団長会議の中でも、特に4地区の見回り点検等を周知してまいります。

## 市税について

**園田** 合併後の、税の滞納の現状は、**山口税務課長** 合併当初は、約4億6千万円、24年度末5億3969万円で、今年度の1期目の督促状は、約6千件発送いたしました。

**園田** 県の普通自動車の納付は、コンビニでも出来る。市の軽自動車税も同じ納付方法はとれないのか。

**税務課長** 現在、熊本市・天草市で取組まれています。今年から人吉市・宇城市でもコンビニでの振り込みが可能だと聞いています。ただし、コンビニからの振り込みが出来るようにするには、最初にシステム変更など、約2000万円の経費が掛かるようです。また、振込手数料として一件あたり約100円程かかりますが、これは銀行に払う手数料の約3倍になります。

# 阿蘇山簡易水道、ジオパーク全国大会について



阿南 善範

**阿南** 阿蘇山上で利用される水の水源地はどこか。

## 丸野水道課長

水源地は3ヶ所あり、1ヶ所は古坊中、他の2ヶ所は南阿蘇村の下若水と御竈(おかもと)です。

## 阿南

年間の取水量と配水範囲、また南阿蘇村への取水料金は支払われているのか。

## 水道課長

3水源合わせて取水量2万7千トン、山上広場、火口周辺、草千里、米塚園地などの施設で使用され、南阿蘇村へは年間六百四十万円程の料金が支払われています。

## 阿南

阿蘇山北側山麓の給水は、どうなっているか。

## 水道課長

殿塚水源地の水が、蛇の尾北側のポンプ室まで上げられ、6ヶ所の施設を通じて、それぞれの地域に配水されています。

## 阿南

第一配水池からの直接の配水は、これからの山麓の活性化利用には不可欠だと思うが。

## 水道課長

水利用の区域変更には、

これから需要予測など様々な問題を解決していかなければなりません。

## 阿南

日本ジオパークの認定に続き、世界農業遺産にも認定された。阿蘇市のこれからの対応は。

## 佐藤市長

昨年、7月12日の大水害直後の審査であり、災害の復旧復興を第一としていた。本年は指摘されたジオ、火山、防災、砂防のテーマに沿って、全国大会会場へ自ら出向き、プレゼンをしようと考えています。

## 阿南

阿蘇開催の利点は。世界ジオパークに認定されれば、阿蘇観光や地域の活性化にも大きく寄与します。そのためにも、来年の全国大会の誘致に努力します。



第一配水池

# 誘致企業と雇用対策について



菅 敏徳

**菅** 誘致企業である阿蘇高原ホテルゴルフ倶楽部に関する運営の現状は。

## 吉良観光まちづくり課長

現在は、既存する株式会社阿蘇高原ホテル名で、新たに運営を開始しておりますが、1ヶ月半ほどでございますが、従業員の方は前会社の会社員に対して、意識動向調査を行い雇用されており、内容は、正社員38名、パート38名(うち10名が常勤)です。

## 菅

赤水区の意向が大前提となりますが、新たな企業スポンサーの情報。

## 観光まちづくり課長

現在、県内外に複数の会社が名乗りを上げておりますが、ゴルフ場の大半を有する阿蘇市、南阿蘇村及び赤水財産管理組合が納得するような優良な企業でなければ、参入は難しいのではないかと思います。

## 菅

雇用対策に関して、地元の人を雇用した場合、企業への優遇策

はないか。

## 観光まちづくり課長

従業員の引き続きの雇用が大前提で、協定書等を作成し、解雇なく雇用継続していただきたいと思います。

## 災害弱者対策について

**菅** 災害時における要援護者や、障がいをお持ちの方々への支援策、又社会福祉協議会と連携した支援体制は。

## 山口福祉課長

災害時要援護者見守りシステムを導入して、民生委員の方々にご協力を頂き、要援護者の情報の登録を行うと共に、支援いただく方の登録も併せて行っており、現在約700名の方が登録されています。又社会福祉協議会の方との話し合いで、今後災害が起こった場合には、お互いの情報の速やかな伝達と、情報の共有について確認したところでございます。



阿蘇高原ホテルゴルフ倶楽部